

- 問1 1842年に江戸幕府が発令した「新水給与令」は、それまでの「異国船打払令」を和らげる方針転換でした。この重大な決定を下す要因となった、当時の東アジアの国際情勢として正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. ロシアが清との国境紛争に勝利したこと | 2. イギリスがアヘン戦争で清を破ったこと | 3. アメリカが独立戦争でイギリスを破ったこと | 4. オランダがアヘン戦争で清を破ったこと |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
- 問2 アヘン戦争の結果、1842年にイギリスと清の間で締結された南京条約およびその関連条約の内容として、当時の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|-----------------------------------|
| 1. キリスト教の布教の自由を認め、北京に外国の公使を駐在させることを約束した。 | 2. ロシアとの国境をアムール川と定め、沿海州を共同管理とすることに合意した。 | 3. 上海や広東など5つの港を開港し、清側に認められていなかった関税自主権を失った。 | 4. 日本に対して多額の賠償金を支払い、台湾や遼東半島を割譲した。 |
|--|---|--|-----------------------------------|
- 問3 幕末の動乱期において、長州藩が幕府を倒す中心的な勢力（雄藩）へと成長できた理由として、最も適切な説明を選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 下関を通過する船への貸付金や、特産品の専売制によって財政を強化したため | 2. 蝦夷地の開発に着手し、北方貿易の利益を独占して軍備を整えたため | 3. 長崎の出島におけるオランダ貿易を独占し、最新の軍事技術を導入したため | 4. 琉球との密貿易や黒砂糖の専売を通じて、莫大な富を蓄積したため |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
- 問4 幕末の開港に際し、欧米諸国では金1に対して銀15の交換比率であったのに対し、日本では金1に対して銀5という比率でした。この交換比率の差を利用して、外国人商人が日本から大量の金貨を持ち出した問題に対し、幕府がとった対策とその影響として正しい説明はどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 銀の含有量を大幅に減らした新しい貨幣を鋳造して、銀の価値を無理やり引き上げたが、農民による激しい一揆が全国で発生した。 | 2. 金の含有量を大幅に減らした万延小判を鋳造して、金貨の価値を国際水準まで引き下げたが、貨幣の価値自体が下落したため激しい物価上昇を招いた。 | 3. 外国との交換比率を統一するために新しい紙幣を発行したが、偽造が相次いだため貿易が停止する事態となった。 | 4. 金の含有量を大幅に増やした万延小判を鋳造して、金貨の信頼性を高めたが、国内の金が不足したため深刻なデフレが発生した。 |
|--|---|--|---|
- 問5 日本では江戸幕府が倒れ、戊辰戦争を経て明治維新へと進んでいた19世紀後半、世界各地でも国家の統一や近代化に向けた大きな動きが見られました。この時期のアメリカ合衆国の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。 | 2. 絶対王政による圧政に対して市民が立ち上がり、人権宣言が採択されて国王が処刑される革命が起きた。 | 3. イギリスの植民地支配からの独立をめざして戦争が起こり、自由と平等を掲げた独立宣言が発表された。 | 4. 国王が議会を無視して増税を強行したことから内乱となり、最終的に血を流さずに立憲君主制へと移行した。 |
|---|--|--|--|
- 問6 1860年代の日本の貿易状況をまとめた資料によると、輸出額の約8割を特定の品目が占める一方で、貿易開始後の物価指数は急激な右肩上がりの傾向を示しています。この資料が示している当時の経済状況の説明として、正しい用語の組み合わせを選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------|
| 1. 主力輸出品：綿織物、発生した現象：物価騰貴 | 2. 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴 | 3. 主力輸出品：生糸、発生した現象：デフレーション | 4. 主力輸出品：茶、現象：殖産興業 |
|--------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------|
- 問7 1858年、幕府の大老であった井伊直弼はアメリカとの間にある条約を結びました。この条約の締結が、尊王攘夷運動を激化させるなど国内の大きな反発を招いた主な理由として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから | 2. 日本に関税自主権がある平等な条約だったから | 3. 朝廷の許可を得ずに日米和親条約を結んだから | 4. 開港場を下田と函館の2港に限定したから |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
- 問8 江戸時代末期、開国を迫る外国勢力への反発や幕府の外交姿勢への不満から、「天皇を尊び、外国の勢力を排除しよう」とする政治思想が強まりました。この思想を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 大政奉還 | 2. 文明開化 | 3. 版籍奉還 | 4. 尊王攘夷 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 1857年のインド大反乱を鎮圧したイギリスは、それまでのインド統治の仕組みを大きく転換させました。この際に行われた政治的な処置として適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. ムガル帝国の皇帝に全権を与え、イギリスの代理として統治させる制度を確立した。 | 2. フランスと協力して、インドを南北に分割して統治する共同統治領とした。 | 3. インドでの統治を担っていた東インド会社を廃止し、イギリス政府による直接統治に切り替えた。 | 4. インド国民会議を組織させ、インド人の代表による完全な自治を求めた。 |
|---|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問10 17世紀から19世紀にかけてのインドの統治体制の変遷について述べた文として、歴史的事実に基づき最も適切なものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. インド大反乱が発生したことで、イギリス政府は統治権をすべて東インド会社に委ねる方針に転換した。 | 2. イギリスはブラッシーの戦いに勝利した直後から、インド皇帝を廃止してイギリス国王による直接統治を行った。 | 3. イギリスは産業革命の進展に伴い、当初から東インド会社を介さずイギリス政府が直接インドを統治した。 | 4. 1857年のインド大反乱を鎮圧したイギリスは、東インド会社を解散させ、政府による直接支配を開始した。 |
|--|--|---|---|
- 問11 1837年に元幕臣の大塩平八郎が大阪で反乱を起こした時期から、1860年に大老が暗殺されるまでの江戸幕府の動向について、時期が最も古い出来事を選択肢から選びなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1. アメリカのペリーが軍艦を率いて浦賀に来航し、開国を要求した。 | 2. 江戸城の門外で大老の井伊直弼が水戸浪士らに殺害される桜田門外の変が起きた。 | 3. 井伊直弼が勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印した。 | 4. 水野忠邦が株仲間間の解散や人返しなどの法を含む天保の改革を実施した。 |
|-----------------------------------|--|--------------------------------|---------------------------------------|
- 問12 1858年に結ばれた日米修好通商条約は、日本にとって不利な内容が含まれていたため不平等条約と呼ばれます。その内容のうち、日本側に「関税自主権がない」という状態について、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 輸出入の取引を、幕府が許可した商人だけに限定すること | 2. 輸入品にかかる税率を、日本側が自由に決めることができないこと | 3. 特定の国に対して、他国よりも有利な条件を自動的に与えること | 4. 外国人が日本で罪を犯しても、日本側の法律で裁くことができないこと |
|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 イギリスがアヘン戦争で清を破ったこと	当時の幕府は、長年大国として認識していた清がイギリスに敗北したという情報をオランダ風説書などを通じて入手しました。イギリスの軍事力の強さに衝撃を受けた幕府は、従来の強硬な「異国船打払令」を継続することで日本も軍事攻撃を受ける危険があると考え、遭難した外国船に対して薪や水、食料を補給して穏やかに帰す「薪水給与令」へと方針を転換しました。
問2	答え 3 上海や広東など5つの港を開港し、清側に認められていなかった関税自主権を失った。	南京条約では5港の開港、香港の割譲、多額の賠償金の支払いが定められました。その後の追加条約によって、イギリス側の領事裁判権の容認や、清側の関税自主権の欠如といった不平等な内容が確定しました。これはアジア諸国が欧米列強に対して結ばされた不平等条約の先駆けとなり、日本などの周辺国に大きな危機感を与えました。選択肢にある台湾の割譲は日清戦争、北京の公使駐在はアロー戦争（第二次アヘン戦争）の結果です。
問3	答え 1 下関を通過する船への貸付金や、特産品の専売制によって財政を強化したため	長州藩は、地理的な利点である下関を活用して北前船などの寄港する船に資金を貸し付ける制度を整えたほか、米・紙・塩などの専売制を強化することで財政難を克服しました。この安定した財政基盤があったからこそ、幕末に西洋から最新の武器を大量に購入し、倒幕の軍事力を蓄えることが可能となりました。なお、黒砂糖の専売や琉球貿易で財政を立て直したのは薩摩藩です。
問4	答え 2 金の含有量を大幅に減らした万延小判を製造して、金貨の価値を国際水準まで引き下げたが、貨幣の価値自体が下落したため激しい物価上昇を招いた。	当時の日本と海外では金銀の交換比率が大きく異なっており、日本で銀を金に替える方が圧倒的に有利であったため、日本の金貨が大量に国外へ流出しました。幕府はこれに対抗するため、金の含有量を従来の安政小判の3分の1以下にまで減らした「万延小判」を発行し、金貨1枚あたりの価値を実質的に下げる対策をとりました。しかし、市場に流通する貨幣の質が低下したことで貨幣価値が暴落し、幕末の混乱を助長する激しい物価の上昇（インフレーション）を引き起こす原因となりました。
問5	答え 1 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。	日本の幕末から明治維新にかけての時期（1860年代）は、アメリカでは南北戦争が戦われていた時期に相当します。北部はイギリス製品に対抗するため保護貿易を求めましたが、南部は原材料を輸出するため自由貿易を求めるなど、経済面でも対立がありました。他の選択肢は、18世紀のアメリカ独立戦争やフランス革命、17世紀のイギリスにおける名誉革命の説明です。
問6	答え 2 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴	幕末の貿易では、生糸が圧倒的なシェアを持つ輸出商品でした。この生糸の流出と、金銀の交換比率の差を利用した金の流出、さらには幕府による貨幣の改鋳などが重なり、激しいインフレーション（物価騰貴）が発生しました。この経済的混乱は、生活に苦しむ人々による「世直し」を求める一揆や、外国人への排斥運動である「攘夷」の動きを加速させる要因となりました。
問7	答え 1 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから	日米修好通商条約の調印に際し、孝明天皇は反対の意向を示していましたが、大老の井伊直弼は朝廷の許可（勅許）を得ないまま調印を断行しました。この違勅調印が、天皇を尊ぶ「尊王」の思想を持つ人々からの激しい怒りを買ひ、倒幕運動へとつながる尊王攘夷運動が激化しました。なお、日米和親条約はこれより前の1854年に結ばれた条約であり、井伊直弼が大老になる前の出来事です。
問8	答え 4 尊王攘夷	江戸時代末期の日本において、欧米列強の圧力が高まる中で生まれた思想です。「尊王」は天皇を尊ぶこと、「攘夷」は外国を排除することを意味します。当初は幕府の弱腰な外交を批判する形で広まり、のちに薩摩藩や長州藩の下級武士らを中心とした倒幕運動の精神的な支柱となりました。
問9	答え 3 インドでの統治を担っていた東インド会社を廃止し、イギリス政府による直接統治に切り替えた。	反乱の規模が想定以上に大きく、従来の東インド会社による統治に限界を感じたイギリスは、1858年に東インド会社を解散させました。これによりイギリス政府が直接インドを支配する形となり、1877年にはイギリス女王を皇帝とするインド帝国が成立しました。ムガル帝国はこの反乱の過程で完全に消滅しました。
問10	答え 4 1857年のインド大反乱を鎮圧したイギリスは、東インド会社を解散させ、政府による直接支配を開始した。	イギリスは当初、東インド会社を通じてインドの貿易や統治を行っていましたが、1857年に発生したインド大反乱（セポイの乱）をきっかけに、会社による統治の限界が露呈しました。反乱を鎮圧したイギリス政府は、翌年に東インド会社を解散し、イギリス国王がインド皇帝を兼ねる形で直接支配を行う体制（インド帝国）へと移行しました。
問11	答え 4 水野忠邦が株仲間の解散や人返しの法などを含む天保の改革を実施した。	大塩平八郎の乱（1837年）による社会不安や飢饉に対応するため、1841年から水野忠邦によって天保の改革が行われました。その後、1853年のペリー来航、1858年の日米修好通商条約調印、1860年の桜田門外の変へと続きます。1860年には万延元年の遣米使節も派遣されていますが、国内の政治的混乱はこれ以降さらに激化することになります。
問12	答え 2 輸入品にかかる税率を、日本側が自由に決めることができないこと	関税自主権がないとは、輸入品にかかる税金（関税）の割合を自国で決定できず、相手国との協議によって決めなければならない状態を指します。これにより、安い外国製品が大量に流入し、当時の日本の国内産業が打撃を受ける要因となりました。なお、外国人を自国の法律で裁けないことは「領事裁判権（治外法権）」の説明です。